

# 平成27年度 アスペン短期交換留学事業（派遣） 参加報告



1月5日から15日の日程で行われたアスペン短期交換留学事業（派遣）では、生徒9名・引率3名が姉妹都市アスペン市を訪問してきました。2月5日には総合センターで報告会が行われ、アスペンでの体験や占冠との食や文化の違いなどが報告されました。

参加報告をいただきましたので、お知らせします。

アスペンで学んだこと

占冠中2年 金森 有咲

私は、アスペンに行つて、楽しい経験をたくさんさせていただきました。さらに今まで何も知らなかったアメリカの人・事・物についても学びました。その一つを紹介したいと思います。

私は、まずアスピンの山の大きさに驚きました。アスピンの山々は、横にも広く、高さも空を突き破るほど高く、「日本とは違う。」と何度も思いました。

アスペンには四つの山があるとソフィーのお母さんが教えてくれました。その中で、一番大きなスキー場スノーマスヘスキーをしに行きました。スキー場はとて広く、きれいに

圧雪されていて、とても滑りやすかったです。そして、さらに驚いたのは、アスペン生の保護者も、学校や仕事があるにも関わらず、私達のスキーについてきてくれ、一緒に滑ってくれていたことです。思い返せば、関わってくれたのはこの時だけではありません。学校への送り迎え、美術館やスノーシュー、クロスカントリイなどのところへ向かう時も車で送ってくれました。毎日毎日関わってくれていたのです。

私がアスペンで学んだ一つとは、優しさはこの国でも変わらないということです。私は前まで、独断と偏見で外国人は皆怖いと思っていました。しかし、私を受け入れてくれた家族や姉妹都市交流に関わってくれた人、すれ違う人々までが私達に優しく快く接してくれたのです。送り迎えはもちろん、朝食を作ってくれたり、たどたどしくても日本語で話しかけたりしてくれました。別れるとき、私は何度も何度も「Thank you.」を言いました。今回感謝しなければならぬ人はたくさんいます。教育委員会の方々、引率してくれた先生方、両親の協力がなければ私はアスペンでこんなにたくさん学び、楽しむことはできませんでした。このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございます。

アスペンで学んだこと

占冠中2年 鈴木 隼人

僕は、アスペンでアメリカの文化についてたくさん学ぶことができました。

一つ目は、食文化についてです。アメリカの食べ物には日本の食べ物よりもすごく大きいです。ハンバーガーやピザは日本の二倍くらいあります。中に入っている具も大きかったです。食べ物以外では、物を入れる容器なども大きかったです。飲み物は、日本と違って液体の色がすごく濃かったです。味も濃く、日本のものとは違い独特の味がしました。

二つ目は、建物の造りについてです。まず家で日本と違うところはトイレとお風呂が同じ部屋にある事です。区切られてはいても少し不便だと思いました。そしてお風呂場にはシャワールームしかありません。だから僕がホームステイした家ではお風呂は外にありました。そのお風呂も日本の一般的なものとは違い、泡が出たりお風呂専用のフタがあったりしました。その他には家自体が日本には無いような山の上に建っていました。アスペンの学校は日本の学校とは異なる事がたくさんありました。水道が廊下にもついていたり、ロッカーに扉や鍵がついていたりしました。建物ではないですが、アメリカの昼食

は全てバイキング形式で好きな物を好きなだけ食べることが出来ました。その他にも日本とは造りが違う所がたくさんありました。

僕は今書いた食文化や建物の造りの違い以外にもアメリカと日本の文化の違いについて学ぶことが出来ました。アスペンで日本ではできないような新しいことにチャレンジしました。

今回このような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。



### アスペン短期交換留学事業 主なスケジュール

1月5日 (火)	アスペン到着
1月6日 (水)	スマグラー鉱山ツアー ウェルカムパーティー
1月7日 (木)	カントリーデイスクール訪問 スノーシューツアー
1月8日 (金)	アスペンミドルスクール訪問
1月9日 (土) ~10日 (日)	ホストファミリーと共に過ごす
1月11日 (月)	スキー (スノーマス)
1月12日 (火)	フェアウェルパーティー
1月13日 (水)	アスペン出発 サンフランシスコ 市内観光
1月14日 (木)	サンフランシスコ出発
1月15日 (金)	帰国



アスペン

占冠中2年 中本 朱音

私は、アスペンに十日間行って来ました。そこで学んできたことを紹介します。

一つ目は、ホストファミリーのみなさんの優しさです。私は、アスペン短期留学中に少しでも体調を崩してしまいました。その時、ソファで休ませてくれて、部屋に戻るとお風呂の準備をしてくれていました。また、短期留学が終わりに近づいてきた時には、何度も「両親と連絡をとらなくて大丈夫か。」ととても心配してくれました。この二つの事から、私を家族同然に扱ってくださっているのだと感じられました。とても感謝しています。

二つ目は、アスペン生の気遣いや注意深さです。私はアスペン滞在中、食事をあまり多くは食べることができず、すぐにお腹がいっぱいになっていました。それにアスペン生はすぐに気がつき、「あなたはもうお腹がいっぱいですか。」と聞いてくれて、すぐに自分の食事を終えて私に合わせてくれました。また、レクリエーションセンターに行く日の朝に、「今日は放課後何をしたいか。」と私のやりたいことを聞いてくれました。私はスケートとプールに行きたいと答えました。放課後、まずはスケートをやることに

なつたのですが、スケートをやっている、「いつプールに行きたいか。」とまた私の希望を聞いてくれました。また、私が返事に困っていると周りのみんなと相談してくれていました。この二つの事から、アスペン生は、周りがよく見え、人のことを気遣えるのだと感じました。私はアスペン短期留学へ行ってここに書いたことの他にもたくさんあることを学びました。このような機会を与えてくださってありがとうございました。

アスペンでの思い出

占冠中2年 長瀬 千温

私は、十日間アスペンに行ってきました。アスペンでの思い出を三つ紹介します。

一つ目は、スキーです。今年初のスキーでした。一番の不安は、みんなにしつかりついていけるかどうかでした。すべてしていく中で少し慣れてきて、周りの景色を見ることができました。すべりながら見たその景色は絶景でした。

二つ目は、スケートです。人生初のスケートでした。最初は、壁がないと立てずとてもゆっくりでした。どんどん慣れていくと、ゆっくりですが壁無しでもすべれるようになりました。

三つ目は、土曜日、日曜日に女の子と男の子それぞれでお泊まり会をしたことです。土曜日は、一緒にごはんを食べたり、外で遊んだりしました。あと、シヨッピングにも行きました。たくさん交流が来ました。日曜日は、ボーリングをしました。私は、ボーリングが大好きなのでとても楽しみでした。一回目は、ガーターが多く点数がなかなかとれませんでした。しかし、二回目には、ストライクが三連続出てとても良い点数がとれたので嬉しかったです。とても楽しかったです。

アスペンでの経験を終えて、私は感謝の気持ちでいっぱいです。アスペンに行くだけでもたくさん費用を出してもらっています。また、ホストファミリーにも大変お世話になりました。本当にありがとうございました。ことだなと思いました。

今回、十日間のアスペン短期留学に行ってきた皆さんのことを学べたので、それらを地域の方々や後輩に伝えていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

アスペンに行ってみての感想

トナム中2年 橋 磨斗

僕はオズボーンと、日本で彼を迎えたときよりもずっと仲良くなることができました。他のアスペン





ン生とも交流を深めることができたと思います。

アスペンでは空港に着いたときから手厚く迎えていただきました。保護者の皆さんが、毎日僕たちの活動に同行してくれました。

アスペンの活動で思い出に残っているのはスキー場での体験です。日本よりもコースがいっぱいあり、広くてほとんどが圧雪されているのでとても滑りやすく楽しかったです。富士山よりも高いところからの景色がとてもすばらしかったです。

平日も楽しかったのですが、週末の体験もすばらしかったです。みんなでそり滑りをしたり、アイスホッケーの試合を見学したりしました。アイスホッケーのルールはよくわかりませんが、とにかく迫力が凄かったです。そりはアスペン生と一緒にたくさん滑って、とにかく楽しかったです。

今回の訪問で僕はアスペン生と多く会話しました。日本に彼らが来たときよりも気軽に話しかけることができました。アスペンのホストファミリーの皆さんのおかげでとても楽しく過ごすことができました。本当に今回来た機会だったと思います。将来またアスペンに行ってみたくて心から思っています。このような機会をいただき、ありがとうございます。

#### 姉妹都市交換留学

トナム中2年 佐藤 由征

一月五日、僕にとって人生で一番大きなイベントが始まりました。僕は北海道から出たことすらないのに、いきなりの海外訪問でも不安でした。周りに仲間がいたので安心してはいましたが、飛行機の揺れにおびえながら、何とかアスペンについたときにはほっとしました。

アスペンの空港でホストファミリーの姿を見たときには、それまでの不安な気持ちや疲れが一気になくなりました。とりあえず単語だけでもいいから会話をしようと頑張りました。人見知りな僕が自分でも驚くぐらい積極的になれました。僕を受け入れてくれたゴッドフリー家の人たちは僕にすぐく気を遣ってくれました。僕はその気持ちに応えようといっぱい会話しました。

アスペンでの野外活動はボランテニアとしてホストファミリーが同行してくれました。そのことが僕の心に響きました。日本に来てくれた時、もうちょっとアスペン生と一緒に行動してあげたらよかったですと後悔もしました。

アスペンでの最高の思い出はショッピングです。困ったときはイーサンが助けてくれました。これが国境を越えた友情なんだろうなと思いました。

最後のフェアウェルパーティーではいつもよりもいっぱい会話をしました。でも、話せば話すほど別れが悲しくなってしまうました。

この十日間の経験は僕の人生でも貴重な、忘れられない思い出になりました。将来もう一度アスペンに行きたいと思います。

#### アスペン交換留学の思い出

トナム中2年 江頭 ひかる

私は、八日間のアスペンで素晴らしい体験をいたしました。その中で印象に残ったことがいくつかあります。

学校訪問ではカントリーディスカールとミドルスクールの二校に行きました。普段の授業の様子やいろいろな施設を紹介してもいい、日本の給食とは違い、食べたいものを選んで食べる昼食をとりました。

特にミドルスクールでは箸の使い方や小学校五年生くらいの子供たちに教えたり、美術や体育の授業と一緒に参加したりしました。体育は今まで経験したことのないゲームができて楽しかったです。アメリカの子供たちの自由な雰囲気がおもしろかったです。

週末はアスペン生と占冠生が全員集まって買い物をしたり、食事をしたり、キャンプファイヤーをした





り、とても楽しかったです。女の子全員と一緒にいろいろな話をしたことが忘れられません。

スキーは最高に楽しかったです。スキー場はとも広く、景色がすばらしかったです。このような場所で滑れてとても気持ちよかったです。クロスカントリースキーは初めての経験でどきどきしましたが、コツをつかめば楽しかったです。しかし、下りは難しくたくさん転びました。

アスペンに行き、ケイトリンやアスペン生とさらに仲良くなれてよかったです。今回の訪問は私にとつて忘れられない思い出になりました。このような機会をいただき、ありがとうございます。

アスペン行って印象に残ったこと

トナム中2年 本田 万葉

私がアスペンに行って印象に残ったことや思い出がたくさんあります。中でも特に印象に残ったことを書きます。

まずは学校訪問です。アスペンの学校は想像してたよりも大きくてびっくりしました。カントリーデイスクールでよさこいを披露したとき、みんな真剣に観てくれました。また、日本のことやアスペンについての印象など質問をされました。

ミドルスクールでは体育の授業に

参加したことが印象に残っています。とても大きなゴムボールを使って大人数であることを生かした楽しい遊びをしました。アメリカの学校には日本とは違うことがいっぱいあって興味深かったです。

買い物も楽しい思い出です。とても大きなショッピングセンターに行き、友達と一緒にお菓子売り場を見ました。大きさと種類が日本とは違ってみていて楽しかったです。アスペン生は私たちをいろいろなお店に連れて行ってくれました。アメリカならではの土産などを、心ゆくまで買うことができました。楽しかったです。

私はアスペンに行くまではとても不安でした。でも、ホストファミリーやアスペン生、いろいろな人が優しくしてくれたことで私は今回の交換留学を楽しめたと思います。私にとつて一番の忘れられない思い出になりました。

また、アスペンにいけるようにいろいろなことに頑張つていきたいです。

アスペンで楽しかったこと

トナム中2年 蔵田 翔

アスペンでの出来事のすべてが僕にとつて楽しかったことです。ホームステイ先のアンディの家はめちゃめちゃ大きかったです。天井に手が

届かないくらい広い居間、リモコンで開くガレージの扉など、日本では考えられない生活でした。そこでゲームをしたり、ラグビーをしたり、毎日楽しかったです。英語が苦手な僕は最初、上手く話せませんでした。勇気を持って一日百単語を目標に辞書を使ってがんばりました。

アンディのお母さんはとても優しく、食事の内容も僕が食べやすいように工夫してくれました。ほかに一緒にカードゲームをしてくれました。アンディのお姉さんのエミリーもお菓子をくれるなどいろいろ親切にしてくれました。アンディのお父さんも一緒にラグビーをしてくれました。とても大きな背中が頼りがいのあるお父さんという感じでした。家族全員が僕にとつても優しくしてくれました。

こうして僕はアンディの家での生活にだんだん慣れ、心から彼らと仲良くなれました。

日本に帰るときは寂しくなりました。将来絶対にお金をいっぱい貯めて自分の力でもう一度アスペンに行きたいです。そしてアンディの家族と再会したいです。

この十日間の経験は僕の人生でも貴重な、忘れられない思い出になりました。このような機会をいただきありがとうございます。



## 表情

引率 占冠中教諭 山口 徹也

学校では見られない生徒達の表情。それを見ることができたこのアスペン短期留学は私にとって本当に有意義な時間でした。

それぞれが自分のテーマや課題をもってアスペンに飛びました。着いたその日から新たな発見と感動の連続。向こうでは、実行委員会やホストファミリーの方々を中心に毎日何かしらのイベントを催してくれました。その中で見るもの、聞くこと、食べるもの、全てに驚きと感動がありました。大自然や動物に目を見開く様子、英語でなされる説明を何とか理解しようと耳をすませて考える様子、おいしいハンバーガーを頬張る様子。毎日そんな表情を見ることができてとても幸せでした。

もう一つ、見ていて嬉しかったのは、生徒達が一生懸命英語でコミュニケーションをとろうとしている様子です。コミュニケーションをとるためには、見たり聞いたり読んだり、情報を受け取るだけでなく、話したり書いたり、あるいは身振り手振りをしたりと、情報を発信する必要があると思います。生徒達は自分の知っている英語を駆使し、出来る限りのことをして、自分の思いを伝えようとしていました。

初めは多少の不安や緊張、疲れが混

ざった表情を見せていた生徒達。しかし、留学の中盤にはアスペンでの生活にも慣れ、生き生きとした表情になっていました。そして終盤、親元を離れ、たった一人で臨んだホームステイを通して、どこかたくましく成長した表情を見せるようになっていました。

生徒達にとっても、引率の教員にとっても本当に有意義な時間でした。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

アスペン引率を終えて

引率 トナム中教諭 村田 隆

今回の滞在で分かったこと、日本に帰ってきてから思うことについてふれてみたいと思います。

アスペンではホストファミリーがボランティアとして現地の活動に大きく関わります。なぜ現地での活動内容や日程がなかなか決まらないのかと不思議に思っていました。こういう事情だったと分かり、納得できました。向こうでの活動がホストやスタッフによって運営されている関係で、活動内容が毎年大きく変わります。(今年は自分のレストランやクロスカントリーコースを提供してくれるホストもいました。)担当者によっては連絡調整の失敗などがあります。滞在期間中はホストファミリーが

連携を取り合っている様子が感じられました。試しに生徒たちへの連絡を頼んだところ、ほぼ正確に伝わりました。市内での移動手段はホストファミリーの車や、市営バスを使つての移動が中心になります。

手作りのおもてなしを受けているということは生徒たちにも伝わりません。英語を十分に話せなくてもコミュニケーションを図ろうと頑張っていました。さよならパーティーや空港での涙の別れは、彼らが深くホームステイ先との交流を行った証だと感じました。

このような体験をしてきて、占冠に帰ってきて思うのは、アスペンの生徒たちを迎えるの取り組みがこれだけ良いのかということ。本当に歓迎していることになっているのかを検討し、このアスペン交流事業がより価値のあるものになるよう、自分の立場でできることをしたいと思うこの頃です。